

いい女ほど隙がある。

狙われて、追いつめられて
ダイアン・レーン危険な危険な
ルナティック・サスペンス!

LADY BEWARE



ダイアン・レーン

DIANE LANE

マイケル・ウッズ
MICHAEL WOODS

コター・スミス
COTTER SMITH

ピーター・ネバギク
PETER NEVARGIC

エドワード・ペン
EDWARD PENN

ティラ・フェレル
TYRA FERRELL



製作総指揮: ベン・スコッティ / フレッド・スコッティ

BEN SCOTTI / FRED SCOTTI

製作: ローレンス・タイラー・モートフ

LAWRENCE TAYLOR MORTOFF

製作: トニー・スコッティ

TONY SCOTTI

監督: カレン・アーサー

KAREN ARTHUR

脚本: スーザン・ミラー / チャールズ・ゼヴ・コーエン

SUSAN MILLER / CHARLES ZEV COHEN

撮影: トム・ニューワース

TOM NEUWIRTH

音楽: クレイグ・サファン

CRAIG SAFAN

衣裳: パトリシア・フィールズ

PATRICIA FIELDS

カラー作品 / 1987年 / 日本ヘラルド映画



愛は危険な香り

LADY BEWARE

●追いつめられてダイアンが今危ない!

14才で「リトル・ロマンス」でデビューして以来「ストリート・オブ・ファイアー」「コットンクラブ」と着実に大女優の道を歩み続けているダイアンが、今回は異常な愛に憑かれた男に狙われ追いつめられる美貌の女を熱演する。

彼女の役どころはウインドー・ドレッサー、カチア。ウインドー・ディスプレイのデザイナーである。自分の心に浮かぶイメージを街角にディスプレイして行きずりの“観客”の視線を浴びる。都会が生んだこのファッショナブルでスリリングな職業に就く女性が、ディスプレイされた“彼女”に憑かれた男によって、危険な“愛”のゲームに引き込まれる。勝つのは男か女か……。

天才少女と騒がれ、常に華麗なるティーン・エイジャーを演じて来たダイアンが、遂に完全にホットな大人の女を演じる時が来た。ダイアンが、今危ない!

●シカゴ・サン・タイムズに載ったある記事がこの映画を作った。

8年前、監督のカレン・アーサーのもとに何処の誰とも分からない人物からある記事の切り抜きが届いたのがこの映画の始まりだった。シカゴ・サン・タイムズのその記事は心理的にレイプされたある女性に関する物だった。「女性が肉体的に犯されることなく心理的にレイプされるという事件に非常に興味を持った。」とアーサー自身は語る。その事件では、当事者の女性は変質者の犠牲となり街を去っていくのだが、アーサーは、女性がその男と戦う物語に変えた。女性が“自分の領域”を守る為に戦うというテーマを強く打ち出したのである。

●危険な愛にはマネキンがよく似合う。

この映画、女流監督カレン・アーサーの演出によるだけのことはあり主人公カチアの心理描写がルナティックに鋭い。彼女の心理状態がディスプレイされたマネキンたちを通して覗えるという面白い手法である。

ディスプレイを実際に行ったのはウインドー・ドレッサー界のバイオニア、キャンディ・ブラッツ女史。現在はハーバース・バザー誌のファッション・エディターとして活躍中である。職場でのダイアン・レインのファッションも素晴らしく、めくるめく変わる華麗な衣装の数々には溜息が出るほど。

●ミステリーを彩る官能のサウンド。

テーマ・ソングを歌うのはシルヴィ・バルタンとジョニー・アリディの息子デビッド・ハリディーである。甘いマスクと優しい声は、まさに銀の匙をくわえて生まれて来た男だけが持つ毛並みのよさの象徴か……。

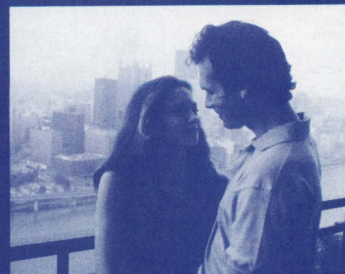


1987年/アメリカ(配給)日本ヘラルド映画



製作トニー・スコッティ/監督カレン・アーサー
脚本チャールズ・ゼヴ・コーエン
撮影トム・ニューアース/音楽クレイグ・サファン

ダイアン・レイン主演
マイケル・ウッズ/コタースミス



愛は危険な香り

9月上旬危険な男

伊勢丹前・シネタウン

新宿ロマン (351) 3674

★6色に変わるウインドー・ドレッサーズ・ペンシル付
前売鑑賞券絶賛発売中!
一般券1200円/学生券1100円/ペア券2200円
(当日料金/一般1500円/大・高1300円/中学1200円のところ)